

★本セミナーでは、我が国の上下水道の課題から、日本最大のコンセッション（みやぎ方式）からみるビジネス展望、上下水道事業の官民連携・広域化の方向性や事例・今後の展望、またAIを含むICTを活用したDXの取組み・課題解決事例などに至るまで、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。  
 ★講師の皆様ご来場頂く予定ですが、急遽オンラインでの講演となる場合がございます。  
 変更などがございましたら、随時更新させていただきますので、下記のURLにてご確認下さいませ。  
<https://www.tic-co.com/seminar/20211214.html>

# 上下水道事業の動向・取組み事例・展望

～講師4名(グローバルウオータ・ジャパン、日本政策投資銀行、NJS、月島機械)ご登壇～

- 日 時 2021年12月17日(金) 10:15～16:25
- 会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・会議室  
※急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL. 06-6358-0141)まで!!
- 受講料 49,940円(1名につき)(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円)  
(テキスト代、消費税を含む)

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信 (Zoom) での受講も可能です。  
 ※セミナー資料 (テキスト) はセミナー開催日の直前にデータ (pdf) でお送り致します。

## ◎ プ ロ グ ラ ム ◎

10:15   11:25	<p><b>I. みやぎ方式から見る上下水道事業のビジネス展望</b>  <small>グローバルウオータ・ジャパン 代表        水の安全保障戦略機構・技術普及委員長        国連テクニカルアドバイザー        日本水フォーラム 理事</small></p> <p style="text-align: right;"><b>吉村和就氏</b></p> <p>&lt;略歴&gt;        大手エンジニアリングで営業、研究、技術開発に携わり、1997年から国連ニューヨーク本部経済社会局で環境審議官、発展途上の水インフラ構築を指導。2000年国連MDGs (ミレニアム開発目標) の作成に携わる。帰国後2005年グローバルウオータ・ジャパンを設立、NHKを始め多くのメディアにて水行政の重要性をPR、最近では若手の教育に力を入れている。</p> <p>日本の上下水道事業は危機的な状況である。人口減少による給水収益の減少、高度経済成長期に敷設した浄水場、下水処理場や配管網が耐用年数を超え老朽化対策が待ったなしである。さらに専門職員の半減など、言わば、お金、モノ、ヒトなどが同時に失われる三重苦に直面している。それらの課題を解決させる企業のビジネスチャンス述べる。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. 日本の上下水道の現状と課題            (1) 人口減少、給水収益の減少、下水使用料の減少            (2) 上下水道施設 (浄水場、下水処理場、管路) の老朽化            (3) 災害リスク対策 (減災、防災、耐震化、耐水化)            2. みやぎ方式とは         </td> <td style="vertical-align: top;">           (1) 日本最大のコンセッションの仕組みは            (2) 想定される問題点と解決策            3. 上下水道事業の課題解決のためのビジネスチャンス            (1) 流域に添った広域化・統合化            (2) 三位一体 (水、食糧、エネルギー) で地方創生            4. 質疑応答・名刺交換         </td> </tr> </table>	1. 日本の上下水道の現状と課題 (1) 人口減少、給水収益の減少、下水使用料の減少 (2) 上下水道施設 (浄水場、下水処理場、管路) の老朽化 (3) 災害リスク対策 (減災、防災、耐震化、耐水化) 2. みやぎ方式とは	(1) 日本最大のコンセッションの仕組みは (2) 想定される問題点と解決策 3. 上下水道事業の課題解決のためのビジネスチャンス (1) 流域に添った広域化・統合化 (2) 三位一体 (水、食糧、エネルギー) で地方創生 4. 質疑応答・名刺交換
1. 日本の上下水道の現状と課題 (1) 人口減少、給水収益の減少、下水使用料の減少 (2) 上下水道施設 (浄水場、下水処理場、管路) の老朽化 (3) 災害リスク対策 (減災、防災、耐震化、耐水化) 2. みやぎ方式とは	(1) 日本最大のコンセッションの仕組みは (2) 想定される問題点と解決策 3. 上下水道事業の課題解決のためのビジネスチャンス (1) 流域に添った広域化・統合化 (2) 三位一体 (水、食糧、エネルギー) で地方創生 4. 質疑応答・名刺交換		
11:40   12:50	<p><b>II. 水道事業の現状・課題と今後のソリューションの方向性</b>  <small>株式会社日本政策投資銀行        地域調査部 PPP/PFI推進センター 調査役</small></p> <p style="text-align: right;"><b>菊池花菜子氏</b></p> <p>ヒト・モノ・カネの大きな課題に直面するわが国水道事業の現状・課題・将来予測を概観するとともに、官民連携・広域化をはじめとする今後のソリューションの方向性について考察する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. PPP/PFIの導入と振り返り            2. 水道事業の現状・課題・将来予測            3. 広域連携と官民連携の運動に向けて            (1) 官民連携を活用した実質的広域化         </td> <td style="vertical-align: top;">           (2) 実現へ向けた課題と対応の方向性            (3) 海外水道の現状            4. 水道事業における官民連携事例等について            5. 質疑応答・名刺交換         </td> </tr> </table>	1. PPP/PFIの導入と振り返り 2. 水道事業の現状・課題・将来予測 3. 広域連携と官民連携の運動に向けて (1) 官民連携を活用した実質的広域化	(2) 実現へ向けた課題と対応の方向性 (3) 海外水道の現状 4. 水道事業における官民連携事例等について 5. 質疑応答・名刺交換
1. PPP/PFIの導入と振り返り 2. 水道事業の現状・課題・将来予測 3. 広域連携と官民連携の運動に向けて (1) 官民連携を活用した実質的広域化	(2) 実現へ向けた課題と対応の方向性 (3) 海外水道の現状 4. 水道事業における官民連携事例等について 5. 質疑応答・名刺交換		
13:50   15:00	<p><b>III. 下水道事業の動向及び多様な連携手法の活用事例</b>  <small>株式会社NJS        開発本部 経営コンサルティング部 グループリーダー</small></p> <p style="text-align: right;"><b>岡田一也氏</b></p> <p>持続可能な水インフラの運営において、山積する課題解決策の一つとして広域連携と官民連携が挙げられる。広域連携については、現在、広域化・共同化計画が全国で検討されていることから、策定状況・手法・事例について紹介する。官民連携は、包括的民間委託やコンセッションなどの連携手法が多様化しており、先進的な取組みについて紹介する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. 社会的潮流及び水インフラの課題            2. 下水道におけるPUP (広域連携) 及びPPP (官民連携) の動向         </td> <td style="vertical-align: top;">           3. 多様な連携手法の活用事例            4. これからの連携手法の展望            5. 質疑応答・名刺交換         </td> </tr> </table>	1. 社会的潮流及び水インフラの課題 2. 下水道におけるPUP (広域連携) 及びPPP (官民連携) の動向	3. 多様な連携手法の活用事例 4. これからの連携手法の展望 5. 質疑応答・名刺交換
1. 社会的潮流及び水インフラの課題 2. 下水道におけるPUP (広域連携) 及びPPP (官民連携) の動向	3. 多様な連携手法の活用事例 4. これからの連携手法の展望 5. 質疑応答・名刺交換		
15:15   16:25	<p><b>IV. ICT/AI技術で変わる・変える上下水道施設のDX事例紹介</b>  <small>月島機械株式会社        ICT/AI活用技術開発プロジェクト プロジェクトマネージャー</small></p> <p style="text-align: right;"><b>矢澤伸弘氏</b></p> <p>グローバルなデジタル革新が各業界で進む一方、上下水道施設においては少子高齢化の影響や施設の老朽化が課題となっています。本講演では月島機械グループでのAIを含むICTを活用したDXの取組みと課題解決事例について紹介いたします。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. 世の中の動向            2. AIの定義            3. ICT/AI技術の活用事例紹介            (1) スマートグラス         </td> <td style="vertical-align: top;">           (2) IoTカメラ、アナログゲージ自動読取り            (3) ドローン            (4) 濃縮・脱水・焼却へのAI適用事例            4. 質疑応答・名刺交換         </td> </tr> </table>	1. 世の中の動向 2. AIの定義 3. ICT/AI技術の活用事例紹介 (1) スマートグラス	(2) IoTカメラ、アナログゲージ自動読取り (3) ドローン (4) 濃縮・脱水・焼却へのAI適用事例 4. 質疑応答・名刺交換
1. 世の中の動向 2. AIの定義 3. ICT/AI技術の活用事例紹介 (1) スマートグラス	(2) IoTカメラ、アナログゲージ自動読取り (3) ドローン (4) 濃縮・脱水・焼却へのAI適用事例 4. 質疑応答・名刺交換		

### － 名 刺 交 換 な ど －

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

# 会場案内

# 申込要領

東京・新お茶の水・連合会館  
(旧 総評会館)・会議室  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台3-2-11

- 地下鉄
  - ・東京メトロ千代田線  
「新御茶ノ水駅」 B3出口 (徒歩0分)
  - ・東京メトロ丸ノ内線  
「淡路町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩5分)
  - ・都営地下鉄新宿線  
「小川町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩3分)
- JR
  - JR中央線・総武線  
「御茶ノ水駅」 聖橋口 (徒歩5分)

- 〈セミナーご受講に際しての注意・禁止事項〉
- ★講演の撮影・録音は禁止とさせていただきます。
  - ★講義の進行、質疑応答の状況等によりまして、終了時刻が多少前後することがございます。予めご了承ください。
  - ★WEB受講については、別途弊社規約 (<https://www.tic-co.com/WEBkiyakuseminar.html>) の定めによるものとします。
  - ★新型コロナウイルス等の感染症・疫病蔓延や国・自治体からの要請、講師の急病、地震・台風等の自然災害、交通災害、最小催行人数に満たない場合等、やむを得ない事情が発生した場合、セミナーの中止、遅延、中断、延期をさせていただきます。セミナー開催中止となった場合、参加費は全額ご返金させていただきます。ただし、中止による交通費、宿泊費、その他の損害につきましては弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

## ●お申込方法

- ・下記申込書に、必要事項ご記入の上、FAXにて弊社セミナー部宛に御送付下さい。又、弊社ホームページからもお申込み頂けます。
- ・申込書が着次第、必ず確認の電話を入れさせて頂き、セミナー参加券、請求書、会場地図を送付致します。

## ●キャンセル規定

- ・キャンセルの場合は開催日の4営業日前までにお知らせ下さい。それ以降は受講料の払い戻しはできませんので予めご了承ください。尚、申込者をご都合の悪い場合は、代理の方がご出席下さい。

## ●お支払方法

- ・お支払いは銀行振込あるいは郵便振替、セミナー当日現金か現金書留でお支払い下さい。
- ・銀行振込の場合は下記口座へお振込み下さい。

■取引銀行 (普通預金口座No.)	
三井住友銀行・梅田支店	0668292
三菱UFJ銀行・梅田中央支店	4513572
三菱UFJ銀行・梅田支店	0739654
三井住友銀行・梅田支店	5084533
ゆうちょ銀行・店名四一八(読みヨニイチハチ) 店番418	1325893
(名義: 株式会社技術情報センター)	

- ・郵便振替の場合、振替用紙をお送り申し上げます。
- ・現金書留の場合は、申込書を同封して下さい。着次第セミナー参加券と領収書・会場地図をご送付致します。

## ●受講料

38,940円

●1名につき、~~49,940円~~

(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円)

(テキスト代、消費税含む。)

※他の割引との併用は出来かねます。

Technical Information Center Technical Information Center

主催



# (株)技術情報センター セミナー部

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル  
TEL 06-6358-0141 FAX 06-6358-0134  
ホームページ <https://www.tic-co.com/>

Technical Information Center Technical Information Center

2021. 12/17 上下水道事業の動向・取組み事例・展望セミナー (No.20211214) 申込書		年	月	日
申込書	TEL	-	-	FAX
所在地	〒□□□□-□□□□ 都道府県			
お支払い方法 (O印をおつけ下さい)		お支払い予定日		通信欄
銀行振込 (三井住友 (0668292-5084533) 郵便振替 当日現金 三菱UFJ (4513572-0739654) 現金書留 ゆうちょ銀行)		月 日		<input type="checkbox"/> 会場受講 <input type="checkbox"/> ライブ配信受講 <input type="checkbox"/> 講師紹介割引 (吉村和就氏)
所属部課・役職名		氏名		今後弊社より定期的にセミナー案内をご郵送させて頂きます。E-mailでの案内をご希望の方はアドレッシングをご記入下さい。案内不要の方はDM不要欄にO印をおつけ下さい。
受講者		フリガナ		DM不要
		フリガナ		DM不要
		フリガナ		DM不要
受講者の上司	部長	フリガナ		DM不要
	課長	フリガナ		DM不要
申込書		フリガナ		一受講者以外、または複数申込で、一括送付をご希望の場合のみ、お書き入れ下さい。 DM不要

※所属部課は正確にご記入下さい。また、受講者の上司氏名はフルネームでお願いいたします。